

ガス検知器 定期点検のススメ

問題：数年間未点検のこの機器は正常でしょうか？



電源ON時の表示が
酸素濃度が20.9vol%・
可燃性ガス濃度が0%LEL・
一酸化炭素が0ppm・
硫化水素が0ppmか・・・
正常に動いているように
見えるけど？



実は・・・



危険です!!

酸素センサは劣化してくると指示の低下やふらつきにより判断出来ますが、可燃性、一酸化炭素、硫化水素は校正ガスで確認しないと、劣化が判断出来ません・・・

劣化したセンサの機種を使用するとCO 100ppmを検知器に当てたとしても・・・



指示値: 100ppm 正常な検知	正常
指示値: 40ppm ガスがある事はろうじてわかる	危険
指示値: 0ppm ガスが無いと判断してしまう	危険

・センサ感度劣化の要因

【シリコーン】

センサの検知素子の触媒表面を覆い、可燃性ガスが検知素子に到達しにくくなる

【硫化物(H₂S、SO₂等)]

センサの触媒に対して、触媒毒として作用する。腐食性が多い場合もある

【ハロゲン系ガス】

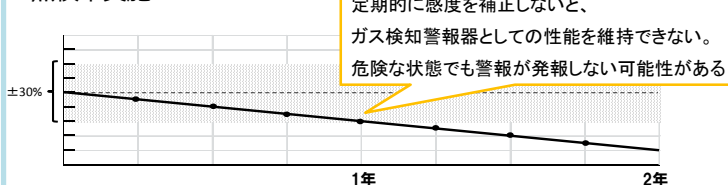
センサの触媒に対して、被毒の様相を示す

【汚水、粉塵】

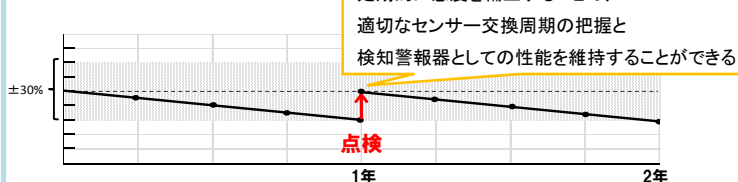
検知素子の表面に付着し、ガスの接触面積を減少させる

「感度劣化と定期点検」

・点検未実施



・点検実施



年に1回以上の定期的な点検の実施をご検討宜しくお願い致します

ご相談やご質問、ご依頼は下記連絡先まで・・・

理研計器株式会社 大阪営業所

TEL : 06-6350-5871 FAX : 06-6350-5877

